

市民の安全な暮らしを守るため 美浜原発3号機の再稼働への反対表明と 避難所の公表等を求める質問・要望書

長浜市長 浅見 宣義 様

日頃は長浜市民の生活の安全と安心のためにご尽力いただき、ありがとうございます。

40年超の老朽原発美浜3号機は、昨年6月に再稼働した後、テロ対策施設未完成のため4か月後の10月に運転停止しましたが、今年の10月に運転再開が計画されています。

私たち避難計画を案ずる関西連絡会は、長浜市民を中心に構成される湖北原発ゼロの会の協力を得て、昨年10月から12月にかけて高月町高月小学校区（約1,800戸、約4,900名）、及び余呉町（約1,200戸、約2,900名）に戸別訪問とチラシ配布（※資料1, 2）を行い、老朽美浜3号炉の危険性と避難計画の問題点を知らせました。中でも余呉町は古い木造家屋が多く、高齢者の割合も高いため、屋内退避も自力で避難することも難しいと感じました。

戸別訪問では驚いたことに、県内避難先を知っている住民は「ほぼ皆無」で、県外避難先に至っては「地名を聞いてもそこがどこにあるかさえ知らない」住民が多数でした。避難所が公表されていないことに多くの方が驚いていました。高齢者の多くは「原発事故が起こったら逃げられない」と話されていました。また、自治会の役員の方々は、「住民を守るためには避難所の情報は大切なのに公表されていない。そのことを、是非次回の議題にする」とおっしゃっていました。また、「原発がなければ避難もいらない」という市民の声も聞きました。

昨年11月20日に滋賀県と長浜市主催で原子力防災訓練が行われ、私たちも見学しました（※資料3）。その際に、簡素化された車の除染や安定ヨウ素剤配布など、問題点を多々感じました。

昨年12月20日の原発の避難計画の実効性を問う政府交渉では、マッチングが出来ているのに公表していないのは全国で高島市と長浜市のみであると内閣府が回答していました。

新型コロナの感染拡大はまだ収まっていません。避難施設には感染症対策が必要です。

あと半年後には美浜3号機が再稼働されようとしているため、2020年12月17日長浜市申入れ以降の避難施設の準備状況を含めて以下の質問と要望にお答えください。

質問事項

1. 前回2020年12月17日の申し入れで、避難所のマッチングは完成しているので、「できるだけ早く」公表するとの回答でした。直ちに公表すべきではないですか。公表しない場合、その理由は何ですか。
2. 前回の申し入れでは、コロナ禍では避難所では感染防止のため、感染者・濃厚接触者等のための個室があるかどうか避難先施設に確認するとの回答でしたが、個室は確保できていますか。

3. 前回の申し入れでは、要援護者の避難先について「移動できる人が何人いるか分からない」との回答でした。要援護者の状態確認と避難先施設の決定はしましたか。
要援護者を抱える施設などへ、避難についての説明や指導はしていますか。
また、その際に、今冬のような豪雪などの自然災害で身動きがとれなくなるような場合も考慮しましたか。
4. 内閣府は、昨年4月27日に「事務連絡」(*注1)を自治体に出し、避難退域時検査では職員はタイベック着用の必要はないとして、交付金の対象としない旨を伝えています。しかし、汚染された地域から車両は検査会場に入り、放射性物質は飛散します。そのため職員の防護服などは必要です。長浜市としては、これまで通りタイベック等は準備されますか。
5. 避難退域時検査場所である湖北体育館の周辺には、多くの民家があります。体育館には検査のために多くの汚染された車両が集まります。検査会場になっていることについて、地元の自治会や住民に、どのように説明されていますか。
6. 昨年の11月の原子力防災訓練では、安定ヨウ素剤の配布時には薬剤師等の説明があっただけで、アレルギーなどに関する医師等の問診はありませんでした。実際にもこのような対応になるなら、事前に説明会を開いて安定ヨウ素剤を配布すれば、医師の問診も受けられるため市民の安心と安全につながるのではありませんか。
7. 原子力災害対策指針の改定では、事故時の甲状腺モニタリングの対象者が19歳未満と限られるなど問題があります。長浜市が実施する場合は、19歳未満に限らず全員を対象にしますか。また、結果は、健康管理や補償に役立てられるように本人に知らせるべきと考えますが、どうですか。
8. 美浜3号機の前回の説明会(2020年12月)は各自治会の代表1名と参加者が限られ、参加者も少なかったため、各地区で、誰もが参加できる住民説明会を開くべきではないですか。

要望事項

1. 老朽原発である美浜3号機の再稼働に反対を表明し、このまま止めておくよう、国と関電に求めてください。
2. 美浜3号機についての住民説明会を、各地区で、誰もが参加できる形で、再稼働が予定されている10月までに開いてください。
3. UPZ内の全住民に避難先、避難所を知らせてください。また、避難先まで行く防災訓練を実施してください。

4. スクリーニング会場の湖北体育館は1万人以上が利用することになっており、狭すぎます。十分広い別会場か、追加の会場を用意してください。
5. 屋内退避を基本にした避難計画を見直してください。*注2
6. 昨年11月の原子力防災訓練では、車両の除染はウェットティッシュで拭くだけの簡易除染でした。職員と避難住民の被ばく防止と、避難先への汚染持ち込みを防止するため、流水による除染にしてください。
7. 原発事故時の甲状腺モニタリングは、全員を対象にして結果は本人に知らせるようにしてください。

※資料1：「子や子孫の安全と琵琶湖を守るため このまま運転を止めて動かさないで！」
(2021年10月23日)

※資料2：「老朽原発美浜3号の運転に反対して 滋賀県長浜市で戸別訪問」報告
(2021年12月10日)

※資料3：「11月20日 滋賀県・長浜市の防災訓練 監視行動の報告」(2021年12月11日)

質問4の*注1：令和3年度における避難退域時検査等の資機材整備について

要望5の*注2

UPZの長浜市は国の防災計画ではすぐに避難するのではなく、空間線量が通常の400倍(20 μ Sv/h)になるまで屋内退避することになっています。2020年3月の内閣府の報告書では、防護対策(陽圧化)のない場合、気密性の高い家屋でも屋外と比べ3割しか内部被ばくが低減しないという結果が出ています。市北部の家屋は大半が木造家屋で気密性が低く、被ばくは避けられません。安定ヨウ素剤を事前配布して、屋内退避を基本とする避難計画を見直す必要があります。(※資料1の3頁参照)

2022年4月19日

避難計画を案ずる関西連絡会

(連絡先団体：グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/ 脱原発はりまアクション/ 原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会)

この件の連絡先：避難計画を考える滋賀の会